

一般会計予算

い　い　よ　～
114億

平成21年度予算審査付帯決議

- 町内においても経済不況の波が押し寄せ深刻な事態になっている中、引き続き財政再建が急務となっているが、住民サービスが低下しないよう行財政改革推進プランにかけた内容は、確実に実施されたい。
- 下水道事業は多額の財政負担を伴うので、財政健全化計画に沿って執行されたい。
- 審議の過程において指摘した事項については、今後の行政執行に反映されたい。

公営企業3会計には合計8億円余が一般会計から繰出される。西世羅地区の簡易水道は今年で工事完了。上水道は山田川ダムからの取水工事をH20年に終えた。また公共下水道は一部供用開始する。企業会計である以上、収支面での独立性が求められ、一方では所得状況に応じた負担のあり方が求められる。とりわけ公共下水道につ

昨秋以降の急激な不況で職を失われた人の多くは国民健康保険へ加入されている。反面、家計収入の減少で、国保税や公共料金の負担は、日々の生活にとどまりかしかねない。

特別会計

●矢山武 失業などで急激に所得低下した場合、年金の他は臨時のなわづかの収入のみのような場合、軽減策を具体化すべきでは。

●仲行洋 高額医療費の納付があれば、国保は資格者証で対応。

●保健福祉課長 H20年度の利用はほとんどない。外来で多額の医療費がかかる場合に備え、様子をみたい。

●矢山武 失業などで急激に所得低下した場合、年金の他は臨時のなわづかの収入のみのような場合、軽減策を具体化すべきでは。

●仲行洋 高額医療費の納付があれば、国保は資格者証で対応。

●保健福祉課長 H20年度の利用はほとんどない。外来で多額の医療費がかかる場合に備え、様子をみたい。

企業会計

上水道事業会計
2億7,836万円
(1億1,978万円)

簡易水道事業会計
12億6,775万円
(4億872万円)

公共下水道事業会計
3億9,885万円
(2億2,080万円)

繰出金総額 16億1,

()内は一般会計からの繰出金

歳入予算

地方債残高（町の借金）平成20年度末見込み

地方債(一般会計)	187億6932万円
上水道事業債	17億2289万円
簡易水道事業債	17億 919万円
下水道事業債	12億2427万円
農業集落排水事業債	3億4878万円
合 計	237億7445万円
町民1人当たりの借金	127万円

基金・積立金(町の貯金)平成20年度末見込

財政調整基金他14会計	50億9821万円
一人当たりの貯金	27万円

H21年4月1日現在人口 18,714人

企業会計は繰出金でつながっています

中小企業の資金調達を支援

世羅町中小企業融資運営基金条例改正

中小企業融資の返済期限を5年から7年に延ばし利子額補助を増額する条例の改正、補正予算、過疎計画の変更、指定管理者の選定など38議案を原案通り可決した。

主な条例改正(抜粋)

○公共下水道の使用料 金の改正

基本料金10m³までが
千4百円を3千円とする。

児童医療費支給条例
の改正

児童医療費の満12歳
まで無料を満15歳まで
延長する。

○使用料・手数料審 議会条例の制定

議会で決定するのではなく、第三者機関で審議し結果を踏まえ決定してゆくための条例。



西世羅地区浄水場

施政方針を問う

H21年度の政策を実行するにあたり、町長は4点の基本目標を掲げている。

- ①安心して住みつけられる健康・福祉のまちづくり
- ②産業が元気なまちづくり
- ③豊かな心を育む教育文化のまちづくり
- ④快適で安全なまちづくり

Q

H21年度においては新たな改革

プランを策定し健全財

政の確立を図るとある
が基本的な考えは。

A 行財政改革プラ

ンはH17年度ス
タートの5ヵ年計画で
次期プランはH22年度
スタートとなる。今

社会情勢は流動的で不
透明なところがあるの
で、短めのプランで実
効性があり、住民に分
かりやすく説明できる
ものを考えている。

なお、現行プランで
達成されていないもの
は新プランに引継ぐ。
現在策定作業進行中。

Q

地域医療体制の
充実、特に世羅

中央病院と三原市立く
い市民病院との再編の
進め方は。

健全経営のためには、
人間ドック受診を積極

的に行うべきだが。
第2期障害福祉計画

に基づいた支援のあり



中山間の基幹病院になれるか

A

再編に向け検討
委員会を立ちあ
げた。

4月から法定医師数
の確保ができ充実が図
られる。国保の人間ドッ
ク、誕生月健診の機会
も提供する。

障害福祉計画では在